

求人情報

■初任給 高卒144,000円～、短大・専門卒159,000円～、大卒185,000円～

■福利厚生 男女寮完備、社内個室休憩室完備、従業員食堂完備、昇給・賞与、確定拠出型年金制度、

永年勤続賞、退職金制度

■休日休暇 年間公休105日、リフレッシュ休日、リフレッシュウィーク休日、誕生日休日、有給休暇あり

■職 種 総合職

■インターンシップ受け入れ/あり(高校生も可)

■大学生アルバイト受け入れ/あり(高校生は不可)

■採用担当者連絡先
TEL/022-398-2231(総務課高橋)
E-mail/nao.takahashi@sakan-net.co.jp



■設 立 平安期
(法人設立は1933年)

■代 表 佐藤 勘三郎

■資 本 金 5,000万円

■従業員数 331人
(男135人/女196人)
※うち外国人採用3人

〒982-0241
仙台市太白区秋保町湯元
字薬師28
TEL/022-398-2233
FAX/022-398-2168
https://www.sakan-net.co.jp/

ホテルさかん
株式会社ホテル佐勘
ホテル・旅館業



お湯の力とおもてなしの心を身上に
常に時代と地域に求められる旅館へ—

1 笑顔が素敵なスタッフの安達さん。『佐勘』の顔ともいえる存在だ。2 直接ゲストと触れ合う機会が多い接客係。滞在中のゲストのあらゆるお世話をするのが仕事だ。気を遣う仕事だが、心遣いが伝わった時の喜びはひとしお。3 売店での販売を担当するスタッフ。館内のレストラン、ラウンジなどでの接客も販売課の業務だ。4 調理係は高卒の新卒採用がメイン。経験を積みながら資格取得に挑戦できる。5 チェックインタイム前のミーティング風景。当日の宿泊客について支配人が申し送りをし、全員で情報共有をする。6 「ダイニング御厨」で給仕をする販売課のスタッフ。最近はワインの勉強もしているそう。7 「我が家に戻って来たようにくつろいでほしい」「心の栄養補給をしてほしい」との思いでゲストを出迎えるフロントスタッフ。心温まる接客が高い評価につながっている。

生活スタイルの変化に合わせて、ベッドを入れた和洋室を増設し、朝食ビュッフェを導入。さらには食事処をプリフィックスの夕食が楽しめるレストランへと改装するなど、次々に新たなサービスを展開。2016年には、インバウンドのバックパッカーをはじめ、コンサート客やスポーツ合宿の学生などをターゲットにした素泊まり型ホテル『KYOUBAR LOUNGE&INN』を秋保温泉内にオープンさせている。

「心の原点に触れるおもてなしの心」を基軸に、脈々と歴史を積み重ねてきた『佐勘』。そのサービスの質の高さは国内外から高い評価を受けている。

多様化する顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応

仙台の奥座敷、秋保温泉にある「伝承千年の宿 佐勘」は、平安時代から続く老舗旅館だ。秋保温泉の山守、川守として領内支配の一翼を担い、江戸時代初期には仙台藩から湯治御殿の湯守職を任じられた佐藤家。その当主は代々「佐藤勘三郎」を名乗り、現在34代に及ぶ。

全国の旅館軒数は1980年をピークに減少が続いた。2005年に社長に就任した第34代・佐藤勘三郎さんは、こうした旅館業を取り巻く状況に危機感を抱き、次世代の旅館業のあり方をいち早く模索し始めた。その取り組みの核となるのが、多様化する顧客層、ニーズへの柔軟な対応である。

04

YOUNG STAFF INTERVIEW

会社に入社して、
一番やりがいを感じたことは?

若手スタッフに聞いた



毎日新鮮な気持ちで仕事ができるのも魅力のひとつです

お手紙を送りあうお客様もいるんですよ

毎日訪れるお客様も違いますし、起こる出来事も違いますが、お客様の特別な1日に携わり「ありがとう!」という笑顔を見るととても嬉しくなります。お客様とのつながりがやりがいであり私の元気の源です。

profile
【名前】小野寺若菜 【在籍年数】3年9ヶ月
【配属】接客部



当館をお客さまと地元の人との交流の場にしたいですね

SNSで日々、情報発信しています

『KYOU BAR LOUNGE&INN』の支配人として、利用されるお客さまと地域とを結び、地元の活性化につなげる方策を考える毎日。ノウハウもなく未熟ですが、やりがいだけは人一倍感じています。

profile
【名前】吉田浩太郎 【在籍年数】2年10ヶ月
【配属】『KYOU BAR LOUNGE & INN』支配人



社員寮をはじめ福利厚生が充実

1Kを中心とした新築の社員寮が完備。女子寮には3DKのシェアハウスタイプも。産休・育休も保証されていて女性も長く活躍できる。若手でも部署異動があり、多彩な業務を体験できるのも魅力。

旅館として初めてG7財務省会合の舞台に

これまでの実績が評価され、2016年5月、『佐勤』にて「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催された。スタッフたちは普段経験することのできない緊張感の中、見事に役目を果たした。現在、G7のメモリアルコーナーが館内に展示されている。



写真提供: G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議 公式ホームページ Photo Library

できた「あたたまりの湯」と「おもてなしの心」で被災者の疲れを癒やし、大いに喜ばれた。この経験から、地域における温泉旅館のあり方を再認識したという同社。2016年にはG7の会場に選ばれ、震災から復興しつつある宮城と東北を海外へアピールすることに一役買った。2018年には、震災復興の二環として指定管理者に名乗りを上げた巨理町の「わたり温泉鳥の海」が全館リニューアルオープンを果たした。「心の原点に触れるおもて

なしの心」という企業理念を常に忘れることなく、お湯の持つ力で地域を元気にしていくことが私たちの使命。今後はグローバルな視点を足し悦にしなが、地域を活性化させる事業やサービスによりいっそう力を入れていきたいと思っています」と佐藤勤三郎社長は語る。世界に通用する高品質なサービスを追求する「佐勤」。これからの取り組みにもぜひ注目したい。

働きやすさを支える環境づくりにも注力

同社の業務内容は、営業、接客、販売、調理、総務と多岐にわたったり、各役割を担う

ハードとソフトの両面で新たな挑戦を果敢に行う一方、ヒューマン・ウェアの強化を図っているのも同社の強みだ。新人事評価制度の導入や、「佐勤カレッジU-40」といった学びの場の創出により、若手社員の積極的なチャレンジが生まれやすい土壌を醸成している。実際に若手社員の中から、老舗旅館の概念を打ち破るイノベーションが多数生み出されている。こうした多様な取り組みにより、従業員一人ひとりの意識改革やスキルアップに努め、同社が目指す「全社員サービスマン」「全社員経営」が組織に浸透。その経営手法が高く評価され、2017年には経済産業省が選定する「新・ダイバーシティ経営企業100選」に旅館ホテル業では初めてランクインし、世間の耳目を集めた。

地域を元気にするグローバル多機能旅館へ

東日本大震災の折、『佐勤』では、館内の至るところが破損したにもかかわらず、発災10日後には日帰り入浴21日後には宿泊の受け入れを再開した。大切に守り継い

社員たちが、ゲストの快適な滞在を誠心誠意込めてサポートしている。社員たちのイキイキとした活躍の土台となっているのが、同社が注力する快適な職場環境づくりだ。平日の余剰人員及び週末の人手不足解消のため、全社員が部門の垣根を越えて柔軟に働ける環境を整備し、業務効率化を実現。「短時間正社員制度」の創設や、産休・育休制度の導入など、子育て中の女性社員が働きやすい体制づくりも推進している。また、男性・女性用の社員寮を完備しているほか、従業員食堂では減塩、低カロリーなど健康に気遣ったメニューも登場。若年者優待措置や連休の取得が可能ならフレックシユ休日も取り入れており、高卒の社員も安心して働ける環境が整っている。

04

地域に根差しつつ、既成概念にとらわれず、グローバルに



「提案力があり、自分で主体的に考えて動ける人材を求めています」と語る第34代・佐藤勤三郎社長。



リピーターが多い『伝承千年の宿 佐勤』。JTBなどの旅行サイトでも顧客満足度の高さがうかがえる。



松島にある姉妹館の『松島佐勤松庵』。小さな岬に佇むわずか11室のみの宿で、「大人の隠れ宿」といった趣。



2016年に秋保温泉にオープンした103室・温泉完備の素泊まり専用ホテル『KYOU BAR LOUNGE & INN』。



同社のブランド力を活かして再生された『わたり温泉鳥の海』。敷地内にグランピング場を開設する計画も。